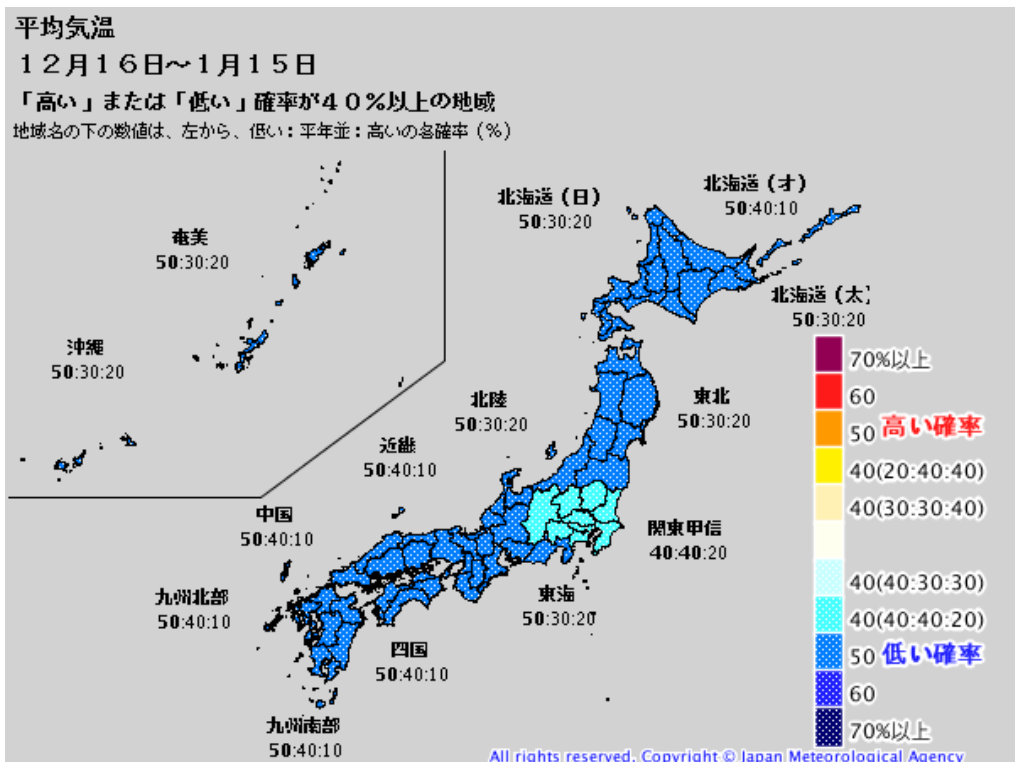


## 気象コラム(9)

この原稿を書いているのは12月中旬ですが、このところ寒い日が続いています。11月末も立山の高原バスが例年よりも早く運行終了を切り上げてしまいました。今年の11月から12月にかけては、例年より寒かったようです。今シーズンの冬はこのペースで寒さが続くのか？雪はたくさん降るのでしょうか？気になる人も多いのではないかと思います。

そこで、気象庁が発表している「季節予報」という長期予報をみてみます。12月14日に発表された1ヶ月予報によると、日本のすべての地域で、12月16日～1月15日の期間の平均気温が「低い」または「平年並」である確率が80～90%とされています。白黒プリントでは分かりにくいかもしれませんが、詳しくは気象庁のホームページをみてください。<http://www.jma.go.jp/jp/longfcst/>

また、紙面の都合で図は掲載しませんが、降雪量も、北陸以北の日本海側の地域で、「多い」または「平年並」である確率が80%と発表されています。



また、12月11日には気象庁から「ラニーニャ現象が発生しているとみられる」と発表されています。ラニーニャ現象が発生した冬は厳冬になる可能性が高いそうです。今年の冬は、雪山がしっかり楽しめるといいですね。

(高田和孝/H.C.teruru)